

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ジャックは、豆のふくろをかかえて、うちまでとんでかえりました。うちへはいるか、はいらないに、ジャックは、

「おかあさん、きょうはほんとに、うまく行ったよ。」と、いきなりそういつて、だいたくいで、牛と豆のとりかえっこした話をしました。ところが、母親は、それをきいてよろこぶどころか、あべこべに①ひどくしかりました。

「まあ、なんというばかなことをしてくれたのだね。ほんとにあきれてしまふ。こんなつまらない、えんどう豆のふくろなんかにつられて、だいいじめす牛一ぴき、もとも子もなくしてしまふなんて、神さま、まあ、このばかな子をどうしましょう。」

母親はぶんぶんおこって、いまいましてうちに、まごのそとへ、ふくろの中の豆をのこらず、なげすててしまいました。そして、つくづくなきなきそうに、しくんしくん、泣きだしました。

きつとよるこんでもらえるとおもっていると、あべこべに、うまれてはじめて、おかあさんのこんなにおこった顔を見たので、ジャックはびつくりして、じぶんもかなしくなりました。そして、なんにもたべるものがないので、おなかのすいたまま、そのぼんははやくから、ころんとねてしまいました。

②そのあくる朝、ジャックは目をさまして、もう夜があけたのに、なんだかくらいなおもって、ふとまどのそとをみました。するとどうでしょう、きのう庭になげすてた豆のたねから、めが生えて、ひと晩のうちに、ふとい、じょうぶそうな豆の大木が、みあげるほどたかくのびて、そここそ庭いっぱい、うっそうとしげっているではありませんか。

びつくりしてとびおきて、すぐと庭へおりてみますと、どうして、たかといいつて、豆の木は、それこそぼうずのしれないかさに、空の上までものびていました。つると葉とがからみあって、それは、空の中をどんとつきぬけて、まるで豆の木のはしごのように、しっかりと立っていました。

「あれをつたわって、てっぺんまでのぼって行ったら、ぜんたいどこまで行けるかしら。」
そうおもって、ジャックは、すぐとはしごをのぼりはじめました。でもまだてっぺんには来ていませんでした。

【楠山 正雄 「ジャックと豆の木」より】

問1 線部①ひどくしかりましたとありますが、母親は、なぜジャックをしかったのですか。

- ア 帰ってくるのがおそかったから
- イ 大きいえんどう豆をもって帰ってきたから
- ウ 人をだまして、牛をつれて帰ってきたから
- エ だいいじめす牛とえんどう豆をかえてきたから



問2 線部②そのあくる朝、ジャックは目をさまして、もう夜があけたのに、なんだかくらいなおもってとありますが、どうして朝なのにぐらかったのですか。次の文にどのように文章から六文字で書き抜きなさい。

ふとい、じょうぶそうな豆の大木が、



に、たかくのびていたから。